

三小だより 1月号



教育目標 「力たくましく 確かな学力を身につけた 心豊かな子どもの育成」

日々の積み重ね

校長 岡村崇弘

新しい年が始まりました。皆様にとって幸せで素晴らしい一年になることを願っています。また、本校教育活動に対し、今年も皆様の温かいご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今年、平成が終わり新しい時代が幕を開ける年でもあります。正月のテレビや新聞では、「新しい時代」という言葉が踊っていたように思います。科学技術が進歩し、AI(人工知能)が進化し、自動運転やロボットの普及、仮想通貨やキャッシュレスなど世の中の仕組みもめまぐるしく変わりつつあります。新しい時代に向け、私たち自身も「今、何をしておくべきか」と考えることを迫られているように感じています。でも、世の中のしくみが変わり、いろいろなことが機械化・自動化されようとも、それを管理・維持し、コントロールし、方向性を決めていくのは、人間であるということには変わりはありません。やはり私たちは、地道に、「健やかな身体・確かな学力・豊かな心」を持った子ども達の育成に力を注いでいこうと思っています。



新年になり、新しい気持ちで「今年こそは」と心に期し、目標を掲げた人も多いと思いますが、日々、目標に近づけるよう努力していますか。昨年もお話したように、目標には、将来を見据えた大きな目標もありますが、まだまだ具体的な大きな目標が決まっている人は少ないと思います。でも、誰もが自分の将来を豊かで実りあるものになりたいという思いを抱いているはずです。大きな目標に近づくための小さな目標、「今年の目標、今月の目標、今日の目標」を立て、日々、努力を重ねましょう。



長く大リーガーとして活躍してきたイチロー選手の言葉に、「ちっちゃなことを積み重ねることがとんでもないことに達するただ一つの道」というのがあります。彼の打撃フォームは独特であり、個性的です。でも、彼は自分勝手に野球をやってきたわけではなく、小さい頃から人一倍真剣に、そして時間をかけて練習に取り組んできた結果が、今のスタイルであり、残した成績なのです。勉強でもスポーツでも力をつけるためには、特に変わったことのない一日一日の積み重ね、こつこつ休まず努力すること、日常のちょっとした工夫が一番大切なのです。

三学期はそれぞれの学年まとめの時期になります。学校に来て、クラスの友達と交わり、一緒に学習するのは50日程です。この50日で、現学年で(六年生にとっては、小学生のうちに)身につけておかなければならないことはきちんとマスターできるよう頑張ろう。併せて、新年の新たなる決意を地道に実行し、一人ひとりの輝きが増し、その結果として三小が輝くことを願っています。